

うえだ 環境市民会議 News

第31号

ニュース

うえだ環境市民会議の活動には、誰でも、どのプロジェクトチームにも参加できます。参加ご希望の方は、生活環境課までご連絡ください。豊かな環境を未来に残すために、一緒に活動しましょう。

この情報誌は自治センター、公民館、図書館、情報ライブラリー、市生活環境課の窓口で配布しております。

発行:うえだ環境市民会議

〒386-8601 上田市大手一丁目11-16
上田市生活環境課内

電話:0268-23-5120

FAX:0268-22-4127

E-mail seikan@city.ueda.nagano.jp

地球環境～生活環境意識の高揚を！

六文銭くり～んネットワーク代表 柴崎茂利

「別所線の駅舎をぜ～んぶきれいにしよう！」をイベント名にして、12月12日別所線上田駅に集まった人は、予測をはるかに超えた70名余でした。朝9時30分担当者から行動その他の説明を聞き、上田駅舎清掃の数名を残して全員が電車に乗って出発しました。各駅に4～5名が順次降りてその駅舎を掃除しました(15駅ある)。ガールスカウトの皆さんをはじめ途中の駅で掃除をしていた人も約20名いました。

別所温泉駅には、別所温泉観光協会の皆様6名が掃除を済ませて迎えてくれました。また、上田電鉄の社員の方々には各駅で参加者の安全を見守っていただき、上田市職員の方々には当日の参加も含めて全面的な支援をいただきました。

「あいそめの湯」に入った後の昼食の席で、神奈川県から参加した人、静岡県から参加した人、いずれも今回のイベントのためにはるばる上田の地に来た

人に出会いました。今回の参加者は小学生から高校生・大学生、企業・団体、一般市民と多彩な顔ぶれ約100名でした。

今回の活動は「別所線に乗る・ゴミ拾い掃除する・温泉に入る」ことが目的ではありません。この目に見える行動を通して、目に見えない「環境意識の高揚」を目的としています。また、この行動を目にした外部の人への「環境意識の啓発・啓蒙」を目的としています。環境活動は「一人の百歩ではなく、百人の一步」を心掛けて、これからも行動していきます。

▼別所線の各駅の清掃を終えて



「環境講演会」を開催して

地球温暖化防止活動推進員 小金玲子

12月3日、地球温暖化防止活動推進員とうえだ環境市民会議の共催で気候ネットワーク・桃井貴子氏による「地球温暖化問題をめぐる世界の動向・日本のチェンジ」と題する講演会を開催しました。大変感銘深いお話で参加された53名の皆さんは熱心に耳を傾けておられました。

桃井氏のお話では、温暖化の影響は様々な形で現れている。IPCC（気候変動に関する政府間の学術的な機関）が100年後に北極の氷が消滅すると予告したが、50年後の予測の状況にすでに達している。気温上昇を2度にとどめることができなければ人類の危機を回避できない。そのためには2020年までにCO₂を25～40%削減しなければならない。削減するための社会の仕組みを作ることが急務であり、

- ・中長期目標を定めそれを担保するため炭素税、自然エネルギー固定価格買取制度、排出量取引制度などの導入が必要。（欧州では既に導入）
- ・地域分散型エネルギー社会の確立が求められる。

など、具体策を示されました。

お話をお聞きして上田でも「make the rule」の波を起こしたいと思ったことでした。



▲環境講演会

お知らせ

『MAKE the RULE を上田ですすめる会』（仮称）へ参加のよびかけ

昨年12月に開催された環境講演会「地球温暖化問題をめぐる世界の動向・日本のチェンジ」で、気候ネットワーク運営委員 桃井貴子さんの講演を聞いた私たちは、お話を聞くだけでなく、その時の「MAKE the RULE キャンペーン」を上田でも進めていったらどうだろう？と考えました。そこで「< MAKE the RULE > を上田ですすめる会」（仮称）を立ち上げようということになりました。多くの方々のご参加により、地球温暖化防止のためのルール作りが一步でも前進するよう願っています。

つきましては、主旨にご賛同いただき、下記の会に参加していただきますようご案内とお願いを申し上げます。

日時：2月11日（祝日・木）

午後2時～4時

会場：市民プラザ・ゆう 2階 会議室

内容：「メイク・ザ・ルールを上田ですすめる会」準備会について

問い合わせ先：

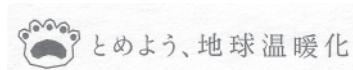
うえだ環境市民会議・環境紙芝居プロジェクトチーム

安井啓子 27 - 3186

布施教子 24 - 4863

長野県地球温暖化防止活動推進員

小金玲子 27 - 3958



www.maketherule.jp